

会 議 録（概要）

会議の名称	令和 7 年度第 3 回佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和 7 年 10 月 1 日（水） 13 時 30 分開会
場所	両津地区公民館
議題	<p>(1) 議題 令和7年度補正予算案について ⇒資料 1 をもとに事務局から説明。全会一致で承認。</p> <p>(2) 報告事項 島内交通全体を見据えた再構築事業について(中間報告) ⇒資料 2 をもとに事務局から報告</p> <p>(3) その他 今後も委員の皆様から意見を募集したいので、ご協力いただきたい旨を周知。また、本日の中間報告に対して後日意見をいただく機会を設けることを連絡。</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡市副市長 鬼澤 佳弘 ・ 佐渡市企画部長 北見 太志 ・ 新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 村山 優樹 ・ 佐渡地区ハイヤー協会 事務局長 富井 拓郎 ・ 佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部担当部長 本間 裕幸 ・ 新潟交通労働組合佐渡部会 執行委員長 金子 秀道 ・ 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 WEB 代理：主査 嶋田実佳 ・ 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 嶋毅彦 ・ 新潟県交通政策局交通政策課長 WEB 代理：政策企画員 深川 修司 ・ 新潟県佐渡地域振興局 代理：計画専門員（総括）東海林 寛雄 ・ 新潟県佐渡警察署 代理：交通課長 田邊 賢志 ・ 佐渡市民生委員児童委員協議会 理事 笹本 芳廣 ・ 佐渡市老人クラブ連合会 副会長 渡辺 政巳 ・ 佐渡市女性団体連絡協議会 会長 本間 由香 ・ 長岡技術科学大学大学院 教授 WEB 佐野 可寸志
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

備考	報道関係 2 社
----	----------

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
新潟交通佐渡	<p>(1)議題 令和7年度補正予算案について ⇒主な質疑等は無し</p> <p>(2)報告事項 島内交通全体を見据えた再構築事業について(中間報告)</p> <p>運賃改定について、御理解、御協力を賜り、感謝している。 運転手の数について、減少が著しいためこのままでは全路線の維持は困難である。利用の少ない地域については、ニーズに応じた運行体系にしていく必要があると思う。 市バスへの移管については運転手の確保が課題になると想定される。地域の皆様からも積極的に協力してもらう必要がある。</p>
A 委員	<p>今後の運転手の数については、これまでの推移からある程度予測できると思う。これをもとに再編案を検討する必要があると思う。 また、他の事業者との連携について具体的に示してほしい。 車両のサイズや運行本数については、人口減少の度合に応じて検討する必要がある。需要が見込めない地域については、タクシーやデマンド等を検討されてはどうか。時間帯に応じて柔軟に車両を検討していく必要があると思う。</p>
事務局	<p>運転手の数については、ご指摘を踏まえて検討していく。他の事業者との連携については、朝から晩まで定期的に送迎サービスを展開している事業者が確認できなかったため、連携するとしても日中の時間帯に限定するなど部分的な連携になると認識している。 また、建設会社には既にヒアリングを実施したが厳しい回答を頂いている。人口分布については、減少度合に応じて再編を検討していきたい。効率化については、時間帯に応じて効率的な運行の検討を行っていきたい。 市バスについては、白ナンバーでも運転できる形態を想定している。車両サイズについては、時間帯によって小型車の導入も検討している。このように運転のハードルを下げること、運転手の確保を図っていく。</p>

B 委員	<p>運転手不足について、新潟交通佐渡のＯＢ・臨時運転手は将来的に維持できるのか確認したい。また、便数に影響が出るのか確認したい。</p>
新潟交通佐渡	<p>運転手については、50 名程度維持したいと考えている。現在、一般貸し切り事業と兼業している状況である。待遇改善を図って、運転手を確保していきたい。</p>
事務局	<p>現状の運転手の数について 48 名は貸し切りを含む人数である。路線バス優先で人員を充てていると認識している。</p>
C 委員	<p>再編案を検討するうえで、観光客は想定しているのか。また、路線ごとの再編案についてももう少し具体的に示していただく必要がある。他の事業者との連携について、ヤマト運輸と連携した事例もあるので他都市の事例も参考にさせていただきたい。</p>
事務局	<p>観光客の利用については、運行状況のグーグルマップへの掲載などによる利便性の向上を検討しているが、あくまでも地域住民の足を確保することを優先して再編案を検討していく。</p> <p>運行形態について、今時点では早朝の時間帯などで利用者が多いことから、マイクロバスでの運行を想定している。日中の利用の少ない時間帯については小型車両での運行を検討したが、複数の車両を購入するコストなどを考えると非常に厳しい。</p> <p>他の事業者との連携については今後さらに検討する。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>今後も委員の皆様から意見を募集したいので、ご協力いただきたいと思います。また、本日の中間報告に対して後日意見をいただく機会を設けたい。</p> <p>以上、閉会</p>